

学校推薦型選抜のポイント

日本体育大学 体育学部／スポーツ文化学部／スポーツマネジメント学部／保健医療学部／児童スポーツ教育学部（スポーツ推薦）

掲載している内容は、過去に実施された試験について、受験生からの聞き取り調査をもとにまとめたものです。ポイントは、授業を担当する講師が指導上、重視する点を簡潔にまとめたものです。入試内容は、変更になる可能性があります。本年度の入試については、入試要項等でご確認ください。

◆出願書類の書式とポイント

●書式

- ・学校長の印鑑が必要。スポーツ推薦の性質上、部活動の顧問と相談し、可能なら大学の部活動の担当者と連絡をとって、本人の実績が合格につながるものかどうかを確認したほうがよい。

所定用紙 2（一枚目）

受験番号

推 薦 書〔スポーツ推薦〕

西暦 年 月 日

日本体育大学長 殿

学校

校長

推薦者（主任・運動部顧問・体育教諭・進路指導教諭）

氏名

本校から下記の者を推薦します。

記

推薦学部 推薦学科 (コース)	学部	学科 コース(選択)	
氏 名	性 別	生 年 月 日	年 齢
卒業年月	西暦 年 月	卒業見込・卒業	

推薦理由

スポーツ活動に関する記録を二枚目に記載してください。
(全国体育大会、国体、全日本選手権等における競技記録・記録簿のうち、最も優れた成績(競技二種)を証明する資料を二枚目に提出してください。また、推薦記録の提出は、個人単位であり、選手として試合に出場したことや記録であるスポーツシート等を添えて提出してください。資料については、二枚目を参照してください。)

(注) 1. 単は記入しないでください。
2. 校長印は公印を押印してください。

(令和7年度)

所定用紙 2（二枚目）

受験番号

最も優れた成績	競技種目名
大会名等(正式名)	競技成績・記録
年 月 日	

(貼付方法)

① 1枚のみ貼付する場合
・表裏を貼付する場合
・ホームページや新聞等に掲載されている結果を貼付する場合

② 2枚以上貼付する場合
・スポーツシート・スポーツシート表を貼付する場合(2枚の資料で順位と試合したことが分れば可)
・全国高校選手権大会
・私立全国選手権大会
・私立全国選手権大会
・私立全国選手権大会

③ 資料として提出できない場合
・大会プログラム
・大会メダル
・大会賞状

④ 資料の写しやプレー等の写真

・資料を貼付する場合は、文字を囲める程度に枠内に収めるようにしてください。
・資料が複数になる場合は、枠内に重ねて貼付してください。その際全ての資料が確認できるように貼付してください。
・Web 出願時に同じ競技成績を入力する必要があります。

資料貼付の際に下記の点を確認し、□にチェックをつけてください。
□ 競技記録は令和4年4月1日以後のもので最上位のものを記入していますか
□ 資料には大会名、順位、日付が明記されていますか
□ 志願者本人の出場記録は記載されていますか
資料としては認められません。必ず本人の氏名や出場時間等が記載された資料(スコアシートなど)を添えて提出してください。
□ 中学競技団体等が指定する強化指定選手である者」を要件として出願する志願者は、それを証明するものを貼付していますか

●ポイント

実績による評価の割合が圧倒的に大きい入試なので、競技や種目やポジションを含め、選手として必要とされるかどうかを事前に十分リサーチしてから書類を提出すること。児童スポーツ教育学部では、免許取得の負担が大きいので、要件の中に、競技と両立することが求められている。

◆小論文試験の形式とポイント

- 形式 横書き原稿用紙 600字～800字以内
- 時間 60分 課題 テーマ型

問題例 **スポーツ推薦 全学部** (2024年度)

競技スポーツを専門に行うアスリートは、スポーツのもつ素晴らしさを体現すべく、競技活動のみならず社会的規範が求められます。ドーピングに限らず大麻所持や未成年者の飲酒・喫煙などの法に抵触する行為を無くすための方策として考えられることをインテグリティ※の観点から述べなさい。

(600字以上 800字以内で述べなさい。横書き)

※インテグリティとは、「誠実」「真摯」「高潔」などを意味する。

●ポイント

丁寧な字を心がけ、原稿用紙の8割(640字)から9割(720字)は埋めること。

1マスあけて書き始め、改行して3つまたは4つの形式段落をつくり、読みやすくすること。

文体は、「～です、～ます」ではなく、「～だ、～である」など敬語を使わない「常体」に統一して書くこと。

2024年度の課題の場合の構成例

第1段落 序論 問題提起

スポーツインテグリティとは、スポーツが価値ある高潔な状態のことをいう。これを維持するためには、相手やルール、試合そのものを尊重する態度、フェアプレイの精神などを自覚することが必要である。では、そうした態度や自覚をどのように育てていけば良いだろうか。指導者・コーチの役割は、極めて重要だと言えるだろう。

第2段落 指導法・コーチングの具体例(いい例、悪い例)

例えば、私の場合は、コーチから次のような指導を受けてきた。……。

第3段落 結論

以上のことから、アスリートの、法に抵触する行為を無くすためには、本人の自覚はもとより、指導者・コーチの役割が極めて重要になると考える。

◆面接試験の形式とポイント

- 形式 集団面接 約10分間

※過去には、横並びで5人単位。端から順に同じ質問をされた。

志望理由、競技者としての目標、将来の夢など。